

## ●コマダラウスバカゲロウの幼虫の擬態を観察しました



コマダラウスバカゲロウ (*Dendroleon jesoensis*) はマダラカゲロウ属のカゲロウの仲間で、幼虫は樹皮や岩石の表面に生えた地衣類の一種であるレプラゴケを体表に纏って周囲に溶け込む擬態を行います (右写真)。今回はシャーレ内で飼育している個体の擬態行動についてレポートします。

## ●コマダラウスバカゲロウの擬態①：地衣類の採取



コマダラウスバカゲロウの幼虫は地表のレプラゴケに体を擦りつける事で引き剥がし、顎の下の部分に付着させていました(右写真の○内)。

## ●コマダラウスバカゲロウの擬態②：首部に地衣類を身に纏う



コマダラウスバカゲロウの幼虫の体表に付着したレプラゴケ片(左写真の○の部分)を前足で掻き取って、首の部分に繰り返し擦り付けて蓄えていました(右写真の○の部分)。

# ●コマダラウスバカゲロウの擬態③：体表への地衣類の貼り付け



首の部分にレプラゴケ片がある程度蓄えられると、コマダラウスバカゲロウの幼虫は頭部を背面に向かって目一杯反らせます。頭部を何度も繰り返して背面に押し付けてレプラゴケ片を伸ばしながら、体表に貼り付けていきます。

## ●完成したコマダラウスバカゲロウの隠蔽擬態



レプラゴケを纏ったコマダラウスバカゲロウの幼虫は周囲に見事に紛れ込んでいます。この様に周囲の環境に溶け込む様な擬態の事を「隠蔽擬態」と言います。スゴイですね。